

スキー部関東大会 速報!!

大回転 市川岳海 7位入賞

1月30日・31日、群馬県スノーパーク尾瀬戸倉で行われた関東高等学校スキー大会に東京都代表として出場していた2年、市川岳海、1年、川手健太郎の大会結果が届きましたのでご報告いたします。

1月30日 回転競技

市川 岳海 12位 川手健太郎 途中棄権

1月31日 大回転競技

市川 岳海 7位 川手健太郎 26位

1月30日、気温-10℃、コースは氷が出る硬いバーン、北海道で行った冬合宿で鍛えた明星にとっては得意なバーンだった。市川は1本目東京都2位、全体10位、10番スタート、勝負できるスタート順、市川は勝負に出た、急斜面でも果敢にアタック、スピードが出かかった所で大きくバランスを崩すが必死にこらえ体勢を立て直したが、一度狂った滑走ラインを取り戻せずロスタイム、コンマ差ながら12位となった。川手も1本目好位置に付け2本目勝負をかけた。ガリガリの急斜面に猛スピードで挑戦、あっと思った瞬間、雪煙があたり川手は崖を落ちるように50mを滑り落ちた、怪我はないか?原監督も心配するが、擦り傷はあるが大事には至らなかった。二人ともに悔しさに唇をかんだが31日の大回転でリベンジを誓う。

1月31日、気温-15℃、雪がさらにしまりスキー板のエッジが引かかき滑りにくいコース、おまけに急斜面でスピードの出るセット。原監督は「1本目、急斜面では確実に、緩斜面で攻めろ」と指示。1本目、120名の選手中40名が転倒、途中棄権、市川・川手ともにゴール。原監督の作戦が当たる。2本目に勝負を賭けた。市川、硬いバーン、板の反発がものすごい、バランスを崩す場面もあったが何とか持ちこたえた。7位入賞となった。東京都選出選手の中でトップ、回転競技の悔しさを晴らした。川手の2本目、スタート直後にバランスを崩し必死にこらえるが急斜面の中ほどで転倒、必死にコースに戻りレース再開、諦める事無くゴールした。結果は26位。原監督が「残念な結果ではあったが1年での順位は素晴らしい、技術的に良い物を持っているのでこれからが楽しみです」と川手の健闘を称えた。

関東大会での活躍に大きな拍手を贈ろう。入賞おめでとう。二人共に良く頑張りました。

2月5日から岐阜県飛騨高山で行われるインターハイでの活躍に大きな期待が膨らむ。

スキー部の健闘を心から祈る!! ガンバレー!!